

第2回門真市庁舎エリア整備審議会 意見対応表

参考資料1

1. 庁舎エリアの導入機能等について（資料1）

No.	話題	意見	対応方針
1	表現全般	全体的に語尾の表現が不十分な部分があるので精査していただきたい。	主体的な表現となるよう、全体的に精査します。
2	防災	南海トラフ地震など具体の災害を想定した対策を考えられているのか。	地域防災計画では、東海地震や南海トラフ地震、風水害、火災などの災害についての対策を記載しており、様々な災害に関する防災機能を想定しています。
3		この防災拠点でどのくらいの人口をサポートできるのか。	近隣に避難所（門真はすはな中学校・門真小学校）が立地しているため、避難所に避難するまでの一時的な避難地としての利用を想定しており、市内の遠方の方がここに集まり避難することは想定していません。
4		広場については、仮設住宅を建てることは可能か。	門真市地域防災計画で、応急仮設住宅建設候補地として、エリア内の中町公園が選定されていることから、現時点では広場内に仮設住宅を整備することは想定していませんが、有事の際に有効に機能する防災機能のあり方を検討します。
5		学校教育や普段の広場の活動との連携をさらに防災とも連動することを検討しているのか。	教育との連携や日常のなかでの防災を意識した連携は、非常に大切な視点であり、今後の参考にさせていただきます。
6		災害発災時の機能の配置図があるとよい。	災害発災時の機能の配置図は基本計画段階で検討します。
7		「大地震による災害被害、液状化被害時」「豪雨による浸水被害時」などの災害種別による被害想定対応が必要でないか。	地域防災計画では、東海地震や南海トラフ地震、風水害、火災などの災害についての対策を記載しており、様々な災害に対応できるよう検討します。
8		「避難所に指定されている施設が隣接しており、適切な連携が必要」と客観的に書かれているため、「連携する」とか「連携を図る」というところまで踏み込んで記載されたい。	主体的な表現となるよう、改めます。
9		活動の育成	事前の取組として、活用のイメージを育てていくことが重要である。

No.	話題	意見	対応方針
10	行政と市民の連携	市庁舎前の広場という特性を活かし、市民への事業説明や意見交換など、インターフェイスとなる機能として活用できるのではないかな。	市民と行政がコミュニケーションの場となるよう検討します。
11	機能配置・動線計画	都市計画公園と広場の実務的な仕分けが課題になるため、いかにしてブレイクスルーするか、工夫の余地がある。	シームレスな空間、一体的な活用について検討します。
12		利用者がどのように歩くのか、エリア内外の動線・フットパスがわかる配置図が必要である。	エリア内外の動線イメージを検討します。
13		ウォークブル推進事業を含め、周辺地域を回遊できるようなメインの動線がしっかりと通ることが重要であり、高架下の活用の方向も変わる。	
		西から東の動線が古川橋まで一体になるような仕掛けができないかな。	
14		賑わい拠点が道路に面しているが、人が滞留することへの安全性も含め検討すべきである。	利便性を重視した配置としていますが自由度を持たせた配置となるよう表現を改めます。
15	夜間の活用	広場については、夜間の利用についても検討すべき。	夜間の活用についても検討します。
16	市域での連携の仕組み	門真市駅、古川橋駅やららぽーとを含めた動線を別途考える必要がある。	ウォークブル推進事業など周辺事業との連携を図ります。
17	その他	エリア全体でシンボリックなものをめざすとしており、象徴性をどのように具現化するのか、計画を進めていくなかで考えなければならない。	今後、計画や設計を進めていくなかで、象徴性を高めるデザインについても検討します。

## 2. 新庁舎の整備方針・導入機能について（資料2）

No.	話題	意見	対応方針
18	環境性能	ZEB に関して、Ready ではなく、『ZEB』をめざされたい。	国の方針等を踏まえ検討します。
19		庁舎単体ではなく、門真市域全体へ広げるイニシアティブを図ってほしい。	情報提供を積極的に行うなど先導的な役割を担います。
		CASBEE を想定しているようであるが、グローバルレベルでの「LEED 認証」も検討してはどうか。	国の方針等を踏まえ検討します。
20	テレワーク	テレワークをうまく活用し、ABW の考え方も柔軟にし、様々な用途で利用することができる空間を設けることで、効率的な空間配置が可能となるのではないか。	諸室については、より柔軟に運用できるように検討します。
21	展望機能	門真を眺める場所や広場を見下ろす視点場としての機能も大事ではないか。	庁舎の屋上利用について検討します。
22		市民交流機能の解釈になると思うが、屋上等を開放するといったことも考えられる。	
23	ウェルビーイング	ユニバーサルデザイン視点の利用者満足度向上に加え、最近働く側のウェルビーイングを重要視し、「WELL 認証」取得まで視野を広げている。	ウェルビーイング（幸福度）の向上について検討します。
24		言葉として「ウェルビーイング」をどのように書き込むかが大事になる。	
25	セキュリティ	ビル建設時のサイバーセキュリティ対応として、情報インフラ・システムの対応だけでなく、建物設備機器へのサイバー攻撃も視野に入れた対応が今後は必要ではないか。	建物設備機器に対するサイバーセキュリティ対策について検討します。

No.	話題	意見	対応方針
26	DX	ICT への「対応」という言葉があるが、デジタル化を進めるという話なので、「対応」では弱いのではないか。	ICT の「活用」とします。
27	その他	カフェや飲食スペースについての記載はあるか。検討できるように記載しておいた方がよいのではないか。	カフェや飲食スペースの記載について検討します。

### 3. 公民連携の方向性について（資料3）

No.	話題	ご意見・ご質問	対応方針
28		公園・広場、市民活動拠点、賑わい拠点の管理事業者が連携して一体的な運営ができるような体制づくりが必要である。プラットフォームを構築する方法もあるし、分けずに一体管理する公募の仕方もあるので、工夫が大事である。	事業者間での連携や一体的な管理運営について検討します。
29	施設の管理・運営主体の連携スキーム（発注スキーム）	弁天池公園や市内の小規模公園なども含めて一括で指定管理を行うことで、スケールメリットを出して、機能分担や役割分担、活動の連携なども積極的に図る方法もあるのではないか。	庁舎エリア外の公園との連携について検討します。
30		賑わい拠点の賃借料がこの広場に再投資されるような仕組みをどう作るかが重要である。特定財源等を別途設け、それをもとに市民活動やプログラムをマネジメントできるようなスキームを取ることができれば、民間事業者のインセンティブにもなるのではないか。	広場に再投資されるようなスキームを検討します。

No.	話題	ご意見・ご質問	対応方針
31		理想は、まとめて相乗効果を発揮することだが、公物管理法の壁があるため、現実的な制約も含め、メリット・デメリットを整理してほしい。	各施設の管理・運営について整理します。
32		儲けだけではなく、一緒になって作っていただけるようなマインドを持った事業者が入ってこられるような事業スキームを作ることが重要である。	収益以外の重要な視点と考えており、持続可能な事業スキームを検討します。
33		運営業者の条件として、門真市内に限った業者を想定しているのか、他府県の業者も参加が可能なのか。	現時点では決まっておりませんが、市内事業者に限ると制約があることから、今後検討します。
34		庁舎も公園もハード面は大事だが、各々が縦割りにならず、ソフト面がどう連携するかを考え、門真市域全体に溢れ出すかが重要である。	庁舎や広場など各施設が連携する事業スキームを検討します。
35		門真、古川橋、ららぽーと、すべてにおいて連携を図るような仕組みやシステムが一つあるべきではないか。	ウォークアブル推進事業など周辺事業との連携を図ります。
36	プロセスデザイン/市民活動の育成	運営に市民団体や市民が参画した体制づくりをしてもらうことも大事である。	検討段階から市民団体や市民に参画していただけるよう検討します。
37		「市民活動等・交流拠点」の運営事業者として「小規模であればイベント企画事業者・コーディネーターなど」となっているが、ここに市民が関与することもありうるのではないか。	
38		庁舎エリア整備プロジェクトチームがいろいろな活動をされており、庁内向け、企業向け、市民向けの取組みが報告されているが、このような活動を継続していただければ。	

No.	話題	ご意見・ご質問	対応方針
39		「市民向け」ではなく、「市民と一緒に」することを次年度以降の取組みで検討されたい。	市民に参画していただけるよう検討します。
40	チェンジマネジメント	チェンジマネジメントは、庁舎整備前から取り組むことが大事である。内部的な了解も必要になるが、最初はどううまくいなくても何回か改善しながら、実績を作っていくことが大事である。	プロジェクトチームでの取組みを進めておりますが、継続して、チェンジマネジメントの取組を推進します。